

令和7年度 第5回与謝野町総合計画審議会 次第

日時：令和8年2月26日（木）19：00～

場所：知遊館 2階 研修室1～3

1. 開会

2. 町長あいさつ

3. 議事

（1）第3次与謝野町総合計画 基本構想（素案）について

① まちづくり方針について

② 基本理念と将来像について

（2）その他

① 今後のスケジュール

4. 閉会（副会長あいさつ）

与謝野町総合計画審議会 委員名簿

任期：令和7年8月25日～令和10年8月24日まで

(委員は50音順・敬称略)

区分	所属	役職等	氏名	摘要
委員	福知山公立大学 地域経営学部	教授	谷 口 知 弘	会 長
	与謝野町区長連絡協議会	会長	坂 中 紀 文	副 会 長
	与謝野町多様性を尊重し合う共生社会づくり推進委員会	委員	足 立 英 子	
	一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社与謝野地域本部	地域本部長	安 達 幸 三	
	峰山公共職業安定所 宮津出張所	出張所長	石 倉 直 記	
	与謝野町社会教育委員会	委員	大 泉 珠 希	
	与謝野町都市計画審議会	委員	尾 上 亮 介	
	与謝野町公共施設等マネジメント推進委員会	委員長	川 勝 健 志	
	よさの百年の暮らし委員会	会長	小 山 富 美 代	
	福知山公立大学 情報学部	学生	津 波 璃 生	
	与謝野町社会福祉協議会	事務局長	中 田 麻 由 美	
	与謝野町教育委員会	教育長職務代理者	樋 口 潔	
	与謝野町商工会	副会長	松 田 政 一	
	つながる丹後	副代表	味 田 佳 子	
	与謝野町農業委員会	会長職務代理者	宮 本 浩 司	
	与謝野町子ども・子育て会議	会長	山 添 謙 三	

オブザーバー	京都府丹後広域振興局 地域連携・振興部	部長	徳 田 裕 之	
--------	---------------------	----	---------	--

事務局	与謝野町企画財政課	課長	山 口 崇	
	与謝野町企画財政課ふるさと応援促進室	室長	小 室 光 秀	
	与謝野町企画財政課	主幹	大 江 聡	
	与謝野町企画財政課	係長	井 上 朱 里	
	与謝野町企画財政課	係長	渡 邊 稔 之	
	与謝野町企画財政課	係長	松 本 潤 也	

1 基本構想とは

基本構想とは、与謝野町が令和9（2027）年度から令和16（2034）年度までの8年間、どんなことを大切に、どんな方向へ向かおうとしているのか、そのおおもとなる考え方のことで、すべての施策の土台となるものです。

2 基本構想のもとになる価値観

与謝野町では、住民の皆さんからお寄せいただいたご意見や思いをもとに、子どもから高齢者まで幅広く親しめる「与謝野町町民憲章」を平成20年1月に決めました。

町民憲章では、豊かな自然と歴史に育まれた郷土を誇りに思い、互いに思いやり、元気あふれる住みよい町を築くことを目指しており、これからの人口減少や社会環境の変化が進む時代においても、この精神をまちづくりの原点として受け継ぎ、まちを未来へとつないでいきます。

与謝野町町民憲章

（平成20年1月制定）

わたしたち与謝野町民は
豊かな自然と歴史に育まれた郷土を誇りに思い
お互いが思いやり
元気あふれる住みよい町を築くため
この憲章を定めます

- ー 自然を守り環境美化に心がけましょう
- ー 伝統と文化を大切に学びの心を育てましょう
- ー きまりを守り自律心を養いましょう
- ー あたたかい家庭と地域の絆を大切にしましょう
- ー 健康で仕事に励み豊かな未来をつくりましょう

3 基本理念

案1

ひらき、寄り添い、共に創る → 安心・共生・協働型

事例1

事例2

事例5

■ 説明文書

与謝野町のまちづくりは、多様な価値観や背景を受け入れ地域をひらくとともに、住民一人ひとりの思いや暮らしに寄り添い、住民・地域・企業・行政が対等な立場で力を合わせ、共にまちの未来を創り上げていくことを基本理念とし、人口減少や社会課題が複雑化する中でも、支え合いと対話を大切に持続可能なまちづくりを進めていきます。

案2

ひらき、つながり、挑戦する → 成長・交流・挑戦型

事例3

事例4

事例5

■ 説明文書

与謝野町のまちづくりは、地域を外へ開き、多様な人や地域、外部とのつながりを広げながら、新たな仕事づくりや産業の活性化、交流の拡大などに積極的に挑戦していくことを基本理念とし、住民・地域・企業・行政が力を合わせ、地域資源を活かしながら、新たな価値を創り続ける持続可能で活力あるまちづくりを進めていきます。

4 将来像

案1

つながりが力を生み、自然と未来を育むまち 与謝野

■趣旨：与謝野町の最大の強みである「人のつながり」と「豊かな自然」を両輪として、地域の力を生み出し未来へつないでいく姿を表現したもの。

■検討理由：住民意見で多い「つながり」を中心概念に置いている／各分野を包括可能／成長性と持続性の両方を示せる／ストーリー性があり総合計画本文と親和性が高い

事例1

事例2

案2

自然とつながりが未来をつくるまち 与謝野

■趣旨：自然環境と地域コミュニティを基盤に、持続可能な未来を築くまちの姿を簡潔に示したもの。

■検討理由：簡潔で覚えやすい／表紙・広報・看板等に適する／与謝野町の本質（自然＋関係性）を端的に表現／長期計画として普遍性が高い

事例1

事例2

案3

顔が見え、挑戦が育ち、帰りたくなるまち 与謝野

■趣旨：顔の見える関係性を基盤に、新しい挑戦を応援し、若者が帰りたくなる地域社会を目指す姿を示したもの。

■検討理由：Uターン政策を明確に表現できる／地域コミュニティの強さを前面化／産業・若者政策と整合／独自性が高く他自治体と差別化可能

事例2

案4

帰りたくなる、つながりのまち 与謝野

■趣旨：関係性の温かさにより、住み続けたい・戻りたいと思える地域を目指す姿を示したもの。

■検討理由：住民感情に訴える力が強く、共感度が高い／移住・定住政策と一致／覚えやすい

事例2

事例3

案5

つながりから未来を創るまち 与謝野

■趣旨：住民・地域・事業者・行政の連携により、新しい価値を創り出す共創型のまちを表現したもの。

■検討理由：基本理念「共創」と整合／計画全体の構造（連携重視）と一致／短く使いやすい

事例1

案6

小さくても、誇りとつながりで未来へ進むまち 与謝野

■趣旨：人口規模の小ささを弱みではなく強みに転換し、誇りとつながりを原動力に未来へ進む姿を示したもの。

■検討理由：与謝野町の現実（人口規模の小ささ）に向き合い小規模自治体の方向性を明確化／独自性が非常に高くメッセージ性が強い

事例2

共通：説明文案

与謝野町の最大の魅力である豊かな自然と里山の景観、織物業や農業をはじめとする産業と文化、人と人の顔が見える温かなつながりを守りながら、それらを活かして新たな魅力と活力を創り出していきます。

また、住民一人ひとりが、小さくとも個性あふれるこのまちに誇りを持ち、主体的にまちづくりに関わり、町の魅力を内外に発信しながら、若者が戻り、訪れる人が増え、安心して暮らし続けられる持続可能なまちをめざします。

5

5 分野別まちづくり方針

※下線部：第5回与謝野町総合計画審議会資料からの追記・変更箇所

5つのまちづくり方針を柱（政策）として掲げ、町民憲章の精神に沿って具体的な施策を展開し、将来像の実現を目指します。

(1) 育ち学ぶ（子ども・子育て・教育）

自助

共助

公助

地域全体で育ちを支え、自ら学び未来を切り拓く力を育むまちへ

深刻な少子化が進む今、子どもたちの笑顔は、何にも代えがたいまちの「宝」です。「このまちで子どもを産み育てたい」。そう思う人を増やすために、妊娠期からの切れ目ない支援や環境づくりに加え、家庭や学校の垣根を超えて、まち全体で子どもたちの成長を見守る「まちぐるみの子育て」の文化を育みます。

学校教育においては、ICTなどを活用した質の高い学びに加え、豊かな自然や歴史・文化、地域産業などを教材とした「ふるさと教育」を通じて、子どもたちが自ら考え、未来を切り拓く力を養える環境を整えます。

こうした取り組みを通じ、「地域全体で育ちを支え、自ら学び未来を切り拓く力を育むまち」の実現を目指します。

6

（2）働き暮らす（産業・仕事・暮らし・環境）

自助

共助

公助

挑戦を支え仕事を創出し、安心して住み続けられるまちへ

「魅力ある働く場がもっと欲しい」。これは住民アンケートで最も重要とされながら満足度が最も低い、住民の切実な願いです。一方で、魅力的な仕事が十分に知られていない側面があるため、子どもの頃から、また住民間で、まちの中にある仕事について知る機会を確保します。

地域経済は、基幹産業の縮小や担い手不足という大きな課題を抱えています。これを乗り越えるため、先人たちが築いた伝統の技術・知恵に最先端の技術を融合させるなど、「新たな挑戦」を地域全体で応援するとともに、中小企業・小規模事業者が地域経済と雇用を支える重要な担い手であるとの認識のもと、事業者・金融機関・教育機関・住民・行政が連携し、地域内で経済が循環し再投資が生まれる持続可能な産業基盤の形成を推進します。

また、誰もが安心して住み続けられるよう、自動運転などの最新技術を活用した移動手段の確保、社会基盤の老朽化・耐震化への対応、そして脱炭素社会に向けた資源循環の取り組みなど、住民と行政が連携して生活基盤の確保を推進します。

こうした取り組みを通じ、「挑戦を支え仕事を創出し、安心して住み続けられるまち」の実現を目指します。

（3）集い楽しむ（観光・交流・文化・スポーツ）

自助

共助

公助

地域の宝を磨き交流を広げ、新たな活力と誇りを育むまちへ

与謝野町には、世界に誇る丹後ちりめん、豊かな自然、そこで育まれた農作物、そして地域に息づく祭りといった、数多くの「地域の宝」があります。これまでの日帰り中心の観光から、それらを活かした地域を深く体験できる観光コンテンツの造成を推進し、町外のファン（関係人口）の拡大を図り、新たな活力を創出します。あわせて、多様な学びの場の機会の充実を図るとともに、文化・スポーツ活動の振興を通じて、住民が集い交流できる環境づくりを進めます。

移住者が過去最高を更新し続けている今、空き家を資源として活用し、新しい住民を温かく迎え入れる環境や、進学や就職で町外に出た人が再び戻り活躍できる環境を整え、Uターン・定住の流れをさらに強化します。そして、住民もこのまちで暮らす楽しさや魅力を主体的に発信し、さらなる交流の拡大を図ります。

こうした取り組みを通じ、「地域の宝を磨き交流を広げ、新たな活力と誇りを育むまち」の実現を目指します。

(4) 認め支え合う（福祉・健康・地域協働）

自助

共助

公助

多様性を認め、対話と支え合いで温かな絆を育むまちへ

「自分らしく安心してこのまちで暮らし続けたい」。その願いを叶えるためには、心身の健康づくりのほか、地域での温かな支え合いが不可欠です。

時代の流れの中で複雑化する困りごとに対して、寄り添い、助け合える「心のバリアフリー」なコミュニティを再構築するため、住民、地域、行政が連携し、誰もが気軽に立ち寄れる「たまり場」や「対話の場」を形成し、日常の中で互いの顔が見え、支え合える関係を育みます。

また、その土台となる住民一人ひとりが違いを受け入れる開かれた心を持ち、お互いの多様性を認め支え合える風土を育みます。

こうした取り組みを通じ、「多様性を認め、対話と支え合いで温かな絆を育むまち」の実現を目指します。

(5) 支えつなぐ（行財政運営・情報発信）

公助

暮らしを支える機能を適切に配置し、情報が行き届き住民参画が広がるまちへ

人口減少や生活様式の変化が進む中、公共施設や行政サービス、行政の組織体制・財政を含め、住民生活を支える行財政運営のあり方について、持続可能な視点から見直しが求められています。

公共施設は、住民理解と合意形成を重視し、配置や量などのあるべき姿を見据えながら、最適なあり方の検討を進め、計画的に見直しを図ります。

行政手続きは、ICTのさらなる活用により利便性の向上を図り、来庁せずに必要な手続きができる環境の充実を図ります。あわせて、デジタル機器の操作に不慣れな人にも配慮し、誰もが安心して利用できる体制を確保します。

また、行政からの情報発信の充実を図り、分かりやすく確実に情報を届けることで、住民のまちづくりへの参画の促進と意識の醸成につなげます。

こうした取り組みを通じ、「暮らしを支える機能を適切に配置し、情報が行き届き住民参画が広がるまち」の実現を目指します。

基本理念・将来像の類型について

1. 基本理念について

(1) 共生・寄り添いを示した事例

岡山県総社市	日本一市民にやさしいまち総社を創る
広島県廿日市市	市民一人ひとりがともに 幸せに暮らせるまちづくり
茨城県阿見町	みんなでつくる共生のまち

➡ 包摂社会や福祉を推進する自治体が設定

(2) 協働・共創を示した事例

山形県白鷹町	共創のまちづくり
兵庫県稲美町	ともにつくる 未来へつなぐ 稲美町
愛知県豊橋市	私たちがつくる 未来をつくる

➡ 住民参加型のまちづくりを重視する自治体が設定

(3) 地域力・つながりを示した事例

大阪府摂津市	みんなが育む つながりのまち 摂津
大阪府枚方市	みんながつながり、支えあうまちづくり
茨城県筑西市	人・思い・つなげる

➡ 顔の見える関係など人のつながりを資源として位置づける自治体が設定

(4) 挑戦・成長を示した事例

大阪府泉大津市	繋がりを紡ぐ 多彩な人材の活躍 知識のアップデート
新潟県新潟市	みんなで新潟市の強みを活かし、人口減少時代に躍進する『活力あふれるまちづくり』、『持続可能なまちづくり』を進めます
静岡県御前崎市	「挑戦」と「共創」

➡ 産業政策や若者流出対策を推進する自治体が設定

(5) 価値観を示した事例

島根県雲南市	変わらず、変える
山口県下関市	ひらく・つなぐ・ささえあう
兵庫県尼崎市	ともに学び ともに育ち ともにつくる

➡ 行動姿勢そのものを示す自治体が設定

(6) 複数の柱で構成した事例

熊本県菊陽町	○ すべての人に「快適なまち」 ○ くらしとみどりが調和する「豊かなまち」 ○ 将来に渡り「誇れるまち」
岩手県紫波町	○ 循環型のまちづくり ○ 協働のまちづくり ○ 多様性あるまちづくり

2. 将来像について

(1) 普遍的な価値（ありたい暮らしやまちづくりの姿など）を示した事例

宮津市	共に創る みんなが活躍する 豊かなまち“みやづ”
綾部市	一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち 綾部
宇治市	一人ひとりが輝き伝統と新たな息吹を紡ぐまち宇治
宮崎県国富町	人がつながる 未来につながる 元気なまち 国富

➡ 住民参画・協働を推し進めたい自治体が設定

(2) まちの特徴、方向性を示した事例

舞鶴市	未来創造・港湾都市 MAIZURU
東京都渋谷区	ちがいを ちからに 変える街。渋谷区
兵庫県豊岡市	小さな世界都市 -Local & Global city-
静岡県下田市	時代の流れを力に つながる下田 新しい未来

➡ まちのアイデンティティや、対外的なイメージが確立されている自治体が設定

(3) 親しみやすさ、キャッチーな言い回しをした事例

青森県弘前市	みんなで創り みんなをつなぐ あずましい※りんご色のまち
大阪府泉南市	ちよつとええやん なかなかええやん ～かんじる つながる ひろがる 住人十色のまち せんなん～
三重県松阪市	ここに住んで良かった…みんな大好き松阪市
高知県四万十町	山・川・海 自然が 人が元気です 四万十町

※ 「心地よい、安心できる」といった方言

➡ 住民に対するメッセージを重視し浸透させたい自治体が設定

(4) 複数の柱で構成した事例

福知山市	○ ほどよい距離感で、さりげない支え合いに幸福を感じるまち ○ 多様性や個性を尊重し、自分なりに歩めるなかに幸福を見いだすまち ○ いつでも前向きに、お互いを高め合うことで幸福を呼びこむまち ○ チャレンジ精神にあふれ、努力と創意工夫を重ねて幸福をつなげるまち
京丹後市	○ 次代を担う子どもたちが「学び」を通じて夢をいただき、いきいきと成長するまち ○ 健やかで生きがいのある暮らしを実現するまち ○ 安全で安心して暮らせるまち ○ お互いに支え合い、助け合うまち ○ 歴史・文化、地場産業等の地域資源を活かしたまち ○ 美しいふるさとの自然環境を守り次代に継承するまち ○ 誰もが幸福をますます実感できる市民総幸福のまち

➡ 目指す姿を目的化（計画構造を明確化）してとらえている自治体が設定

第3次与謝野町総合計画策定スケジュール

年	月		総合計画審議会	議会	パブリックコメント	フェーズ
R 8 年	1月	上旬				基本 構 想 作 成
		中旬				
		下旬	第4回会議＜基本構想(素案)審議＞			
	2月	上旬				
		中旬				
		下旬	第5回会議＜基本構想(素案)審議＞			
	3月	上旬		議会報告＜基本構想(素案)説明＞		
		中旬				
		下旬				
	4月	上旬				
		中旬	正副会長等と町長の懇談会			
		下旬	第1回会議＜基本構想(素案)承認＞			
	5月	上旬	基本構想(素案)答申			基本 計 画 作 成
		中旬				
		下旬		議会運営委員会		
	6月	上旬		全員協議会＜基本構想(素案)説明＞		
		中旬	第2回会議＜基本計画(素案)審議＞		基本構想(素案)パブリックコメント	
		下旬			↓	
	7月	上旬			↓	答 申
		中旬	第3回会議＜基本計画(素案)審議＞			
		下旬			町HPにて回答公表	
	8月	上旬				
		中旬	第4回会議＜第3次計画(案)承認＞			
		下旬	第3次計画(案)答申	議会運営委員会		
	9月	上旬				議 会 と の 調 整
		中旬				
		下旬				
	10月	上旬			第3次計画(案)パブリックコメント	
		中旬			↓	
		下旬				
	11月	上旬				
		中旬	第3次計画(基本構想・基本計画)書面報告		町HPにて回答公表	
		下旬				
	12月	上旬		全員協議会＜第3次計画(基本構想・基本計画)説明＞		実 施 計 画 作 成
		中旬		第3次計画(基本構想・基本計画)議案審議		
		下旬				
R 9 年	1月	上旬				
		中旬				
		下旬				
	2月	上旬				
		中旬				
		下旬	第5回会議＜実施計画・R9予算報告＞	議会運営委員会		
	3月	上旬		常任委員会＜実施計画説明＞		完 成
		中旬		予算審議＜実施計画説明＞		
		下旬				

基本理念・将来像(たたき)について意見を出し合ひましょう

班

基本理念（中心軸/共通のよりどころ/まちづくり精神）

■キーワード

寄り添う	ひらく(開く・拓く)	挑戦	帰る	共創
最適化	連携	関係づくり	見える化	伝統と革新

■その他の視点：方言や平仮名の使用

■たたき

案1 ひらき、寄り添い、共に創る

案2 ひらき、つながり、挑戦する

■グループ意見まとめ

将来像（10年後の理想的な姿/まちづくりのコンパス）

■キーワード

自然(の豊さ・美しさ)	つながり	顔が見える	笑顔あふれる	誇り
自分ごと・主体性	たまり場・サードプレイス	創造	魅力	見える化

■たたき

案1 つながりが力を生み、自然と未来を育むまち 与謝野

案2 自然とつながりが未来をつくるまち 与謝野

案3 顔が見え、挑戦が育ち、帰りたくなるまち 与謝野

案4 帰りたくなる、つながりのまち 与謝野

案5 つながりから未来を創るまち 与謝野

案6 小さくても、誇りとつながりで未来へ進むまち 与謝野

■グループ意見まとめ